

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第13週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第13週分 3月25日～3月31日（4月3日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：257人、定点医療機関当たり5.35人、新規患者推計値※：1,213人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

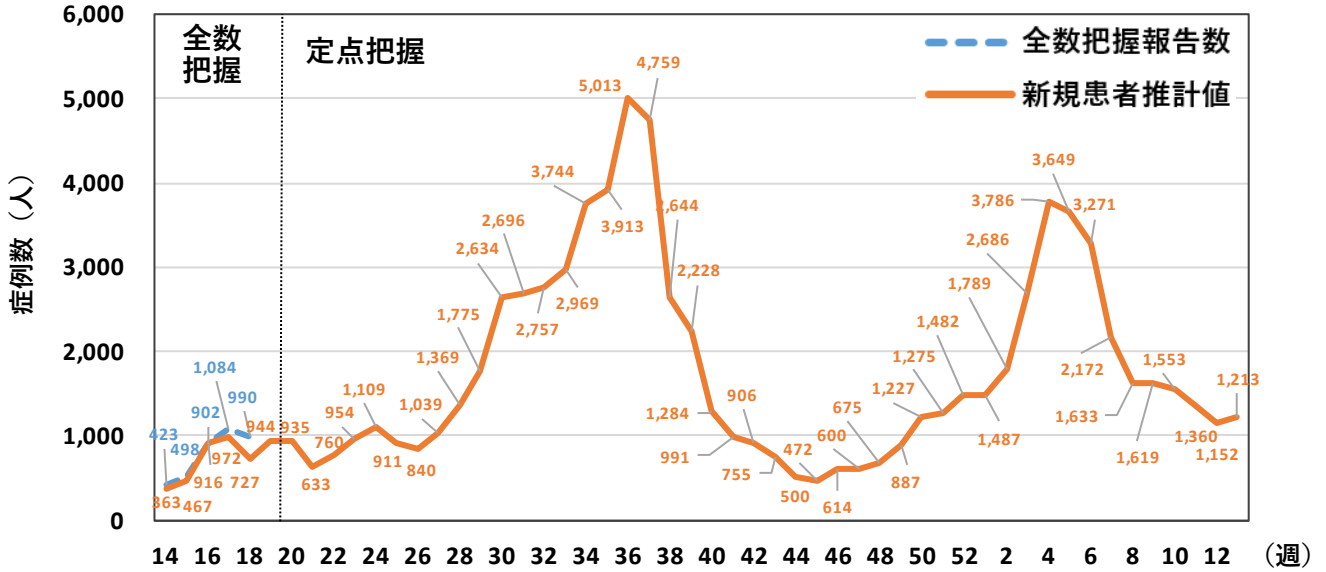


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

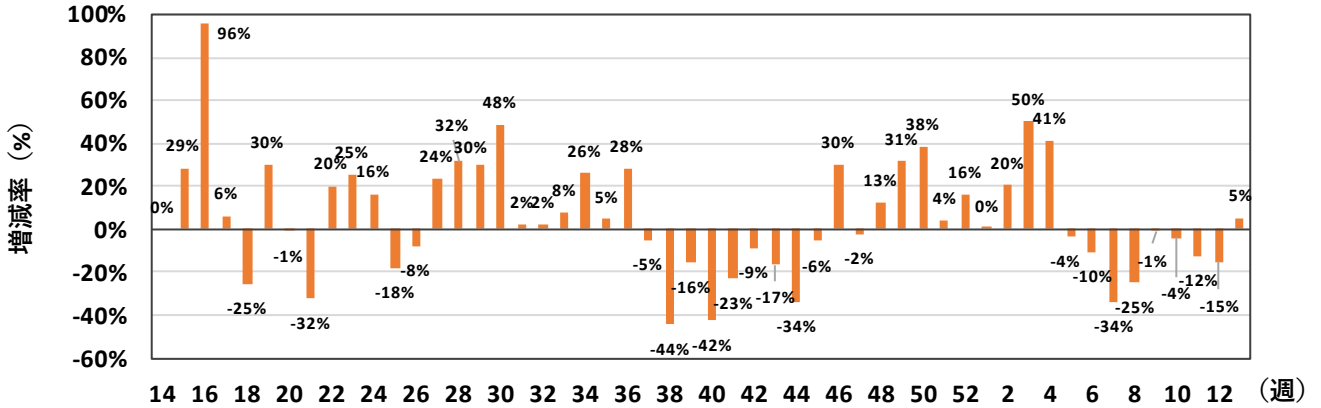


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第13週）

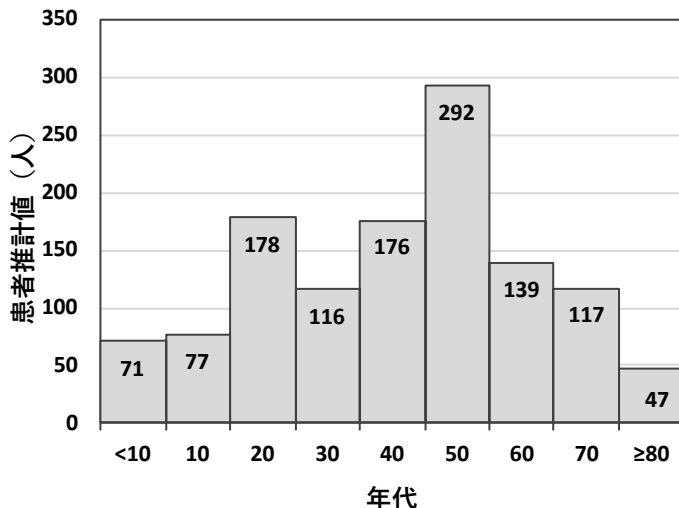


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第13週）

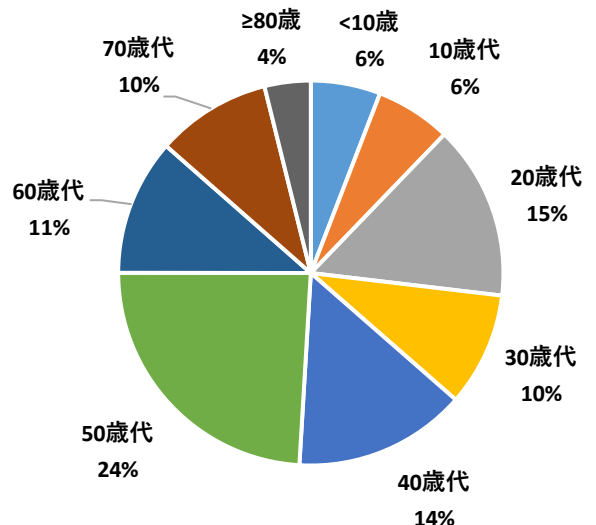


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移 (富山県)

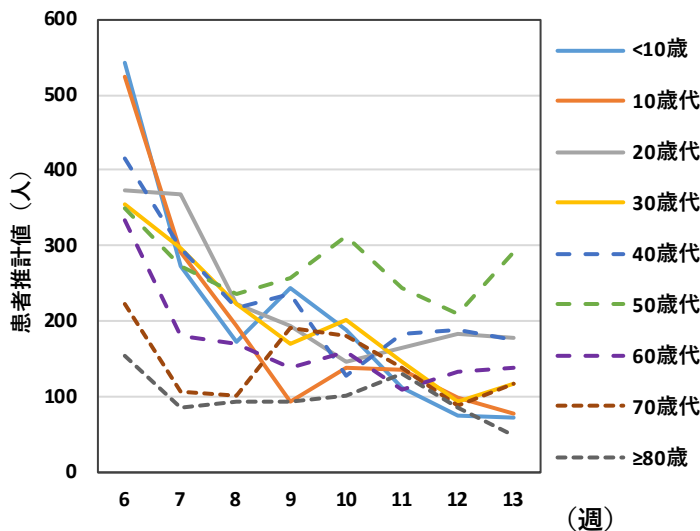


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移

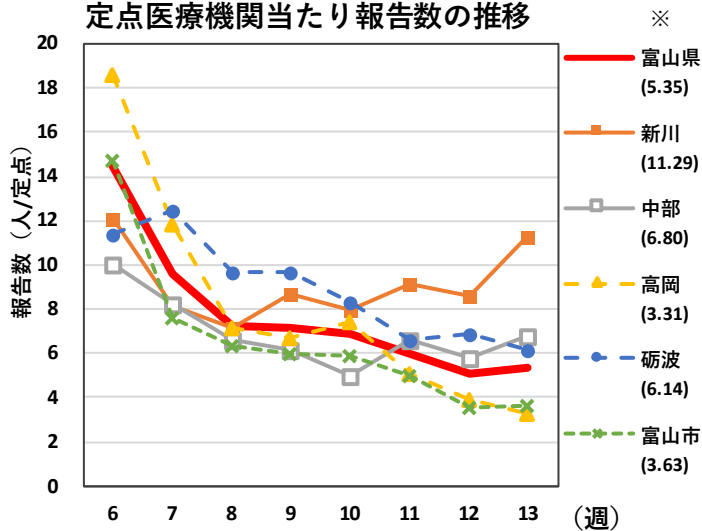


図7. COVID-19入院サーベイランス

年代分布 (第13週、31例)

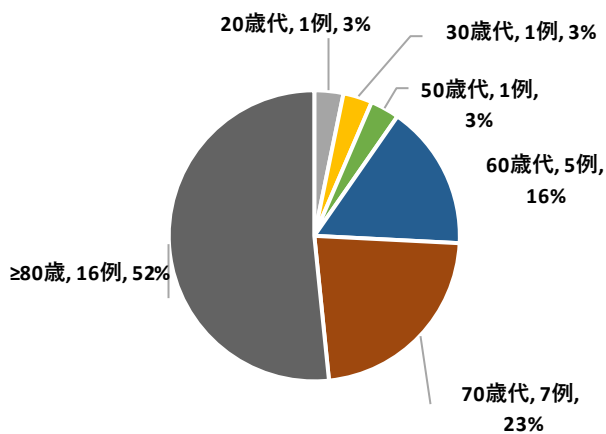
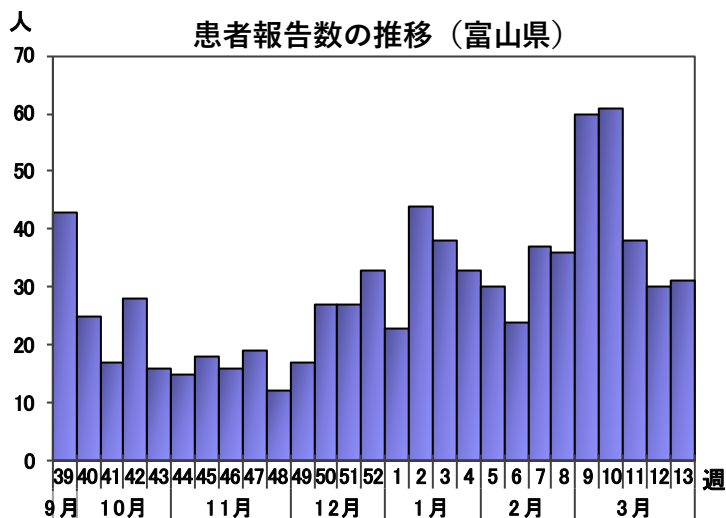


図8. COVID-19入院サーベイランス

患者報告数の推移 (富山県)



第13週 (3/25~3/31) 時点での所見と評価

- 第13週の定点医療機関当たり報告数は5.35人、新規患者推計値は1,213人であった。前週推計値 (第12週、1,152人) から5%増加した (図1、2)。
- 第13週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く24%を占め、次いで20歳代 (15%)、40歳代 (14%) の順であった。60歳以上の割合は25%で先週 (26%) と同程度であった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。30歳代、50歳代、70歳代で増加がみられ、80歳以上で減少した。その他の年齢はやや減少または横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で5.35人/定点であり、先週 (5.08人/定点) からやや増加した。新川管内で増加したほかは、先週からほぼ横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第13週に31例の入院報告があり、先週 (30例) と同等であった。年代分布では、70歳代が7例、80歳以上が16例で、70歳以上が75%を占めた。20歳代、30歳代の報告がそれぞれ1例あった (図7、8)。
- COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに減少傾向が継続していたが、今週やや増加した。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。

※これまでは新規患者推計値と定点当たり報告数に基づき評価を行ってきたが、第14週からは定点当たり報告数のみに基づく評価に切り替える予定。